

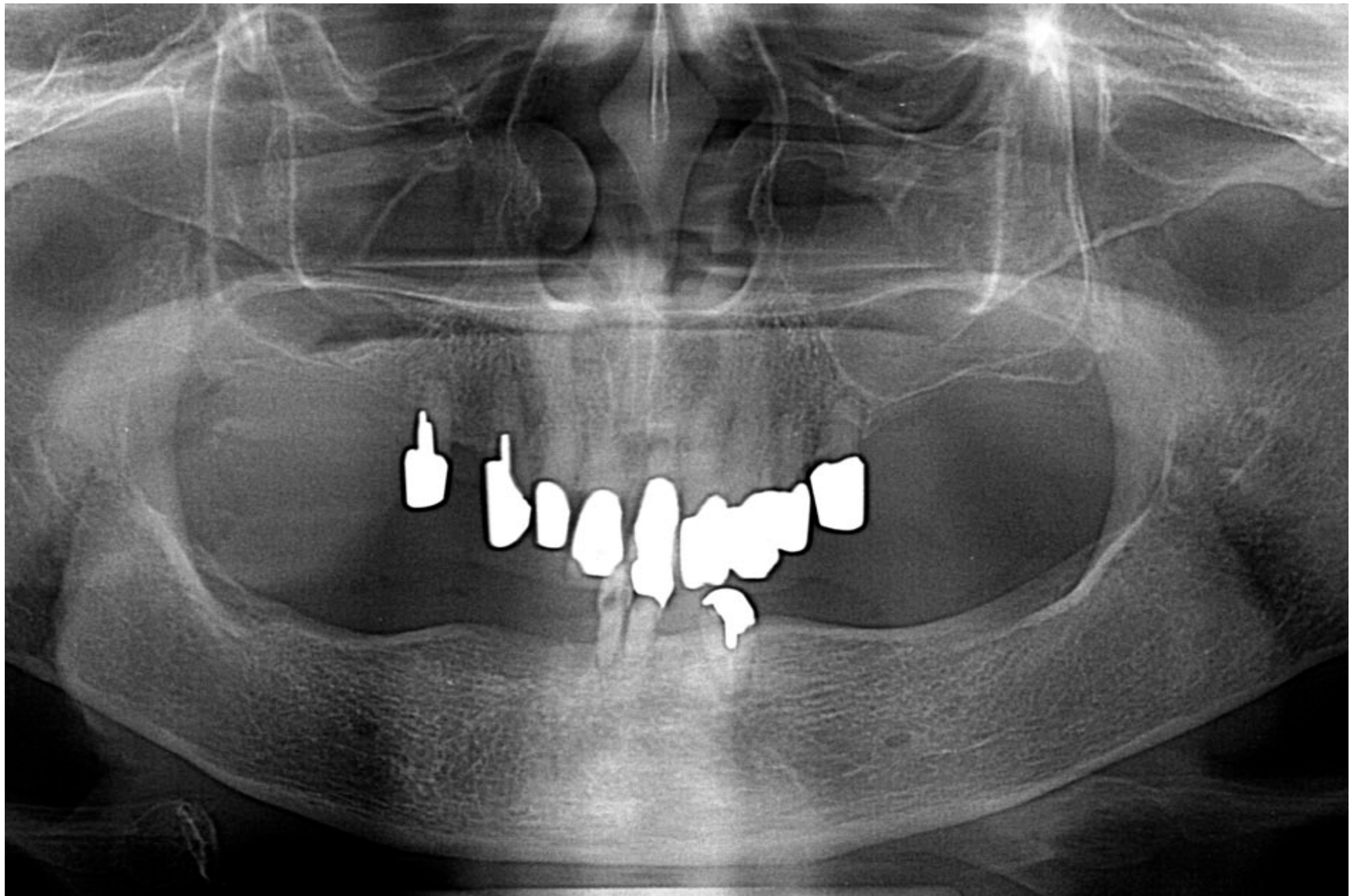
下顎歯肉癌の症状

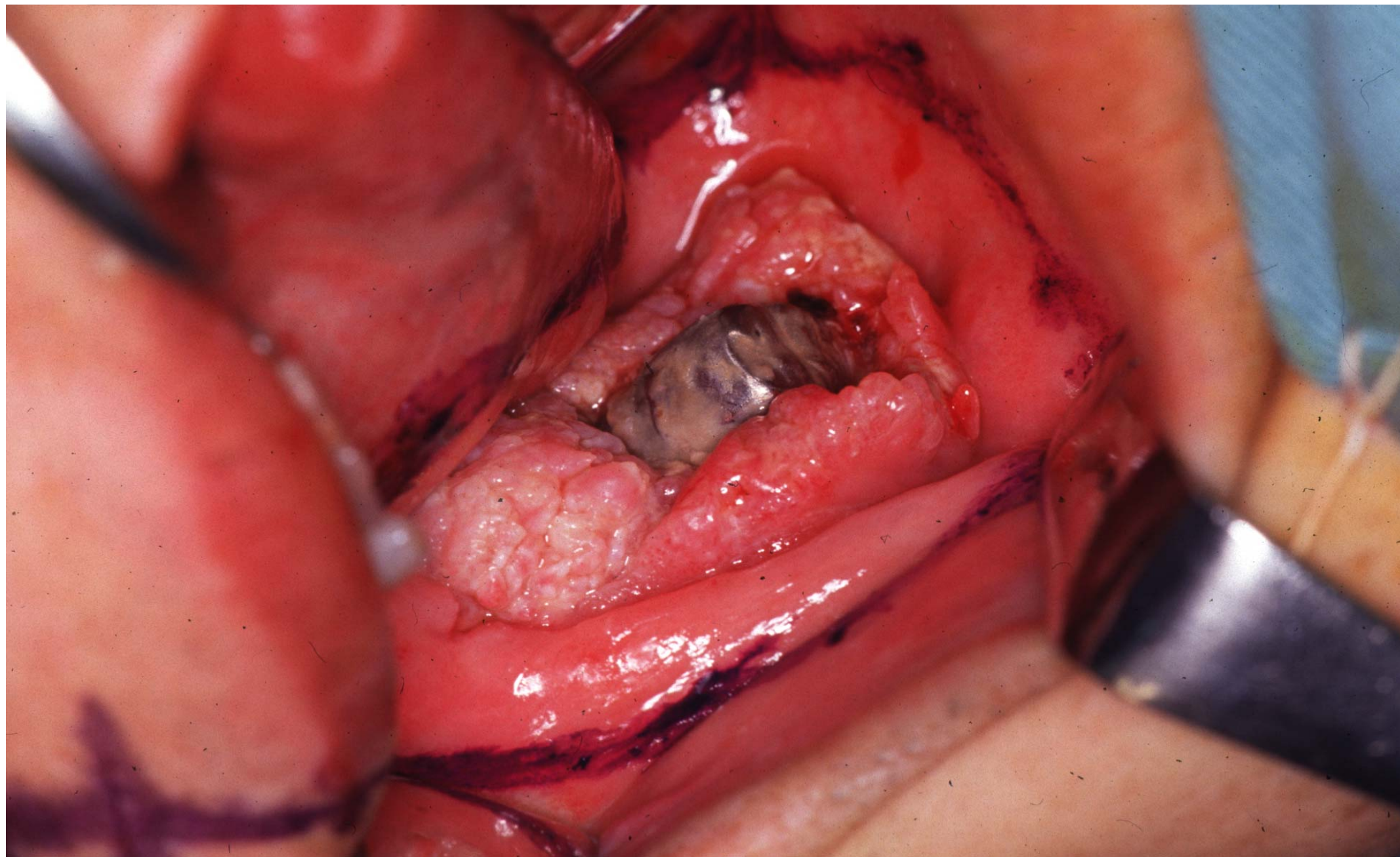
- 歯がぐらぐらする
- 歯肉から出血する
- 歯肉の腫れ、頬部の腫れ（肉芽様）
- 下口唇のしびれ







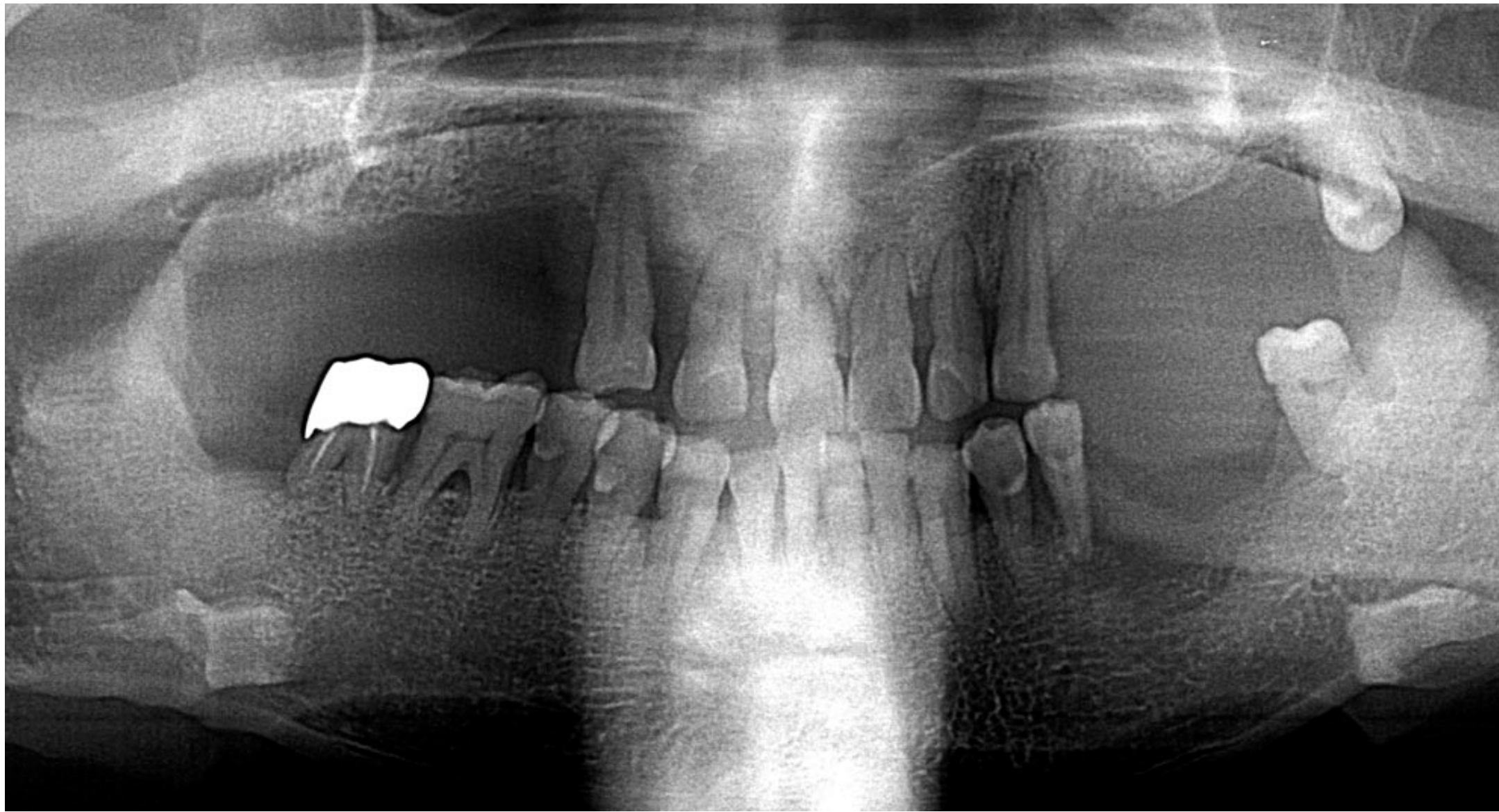


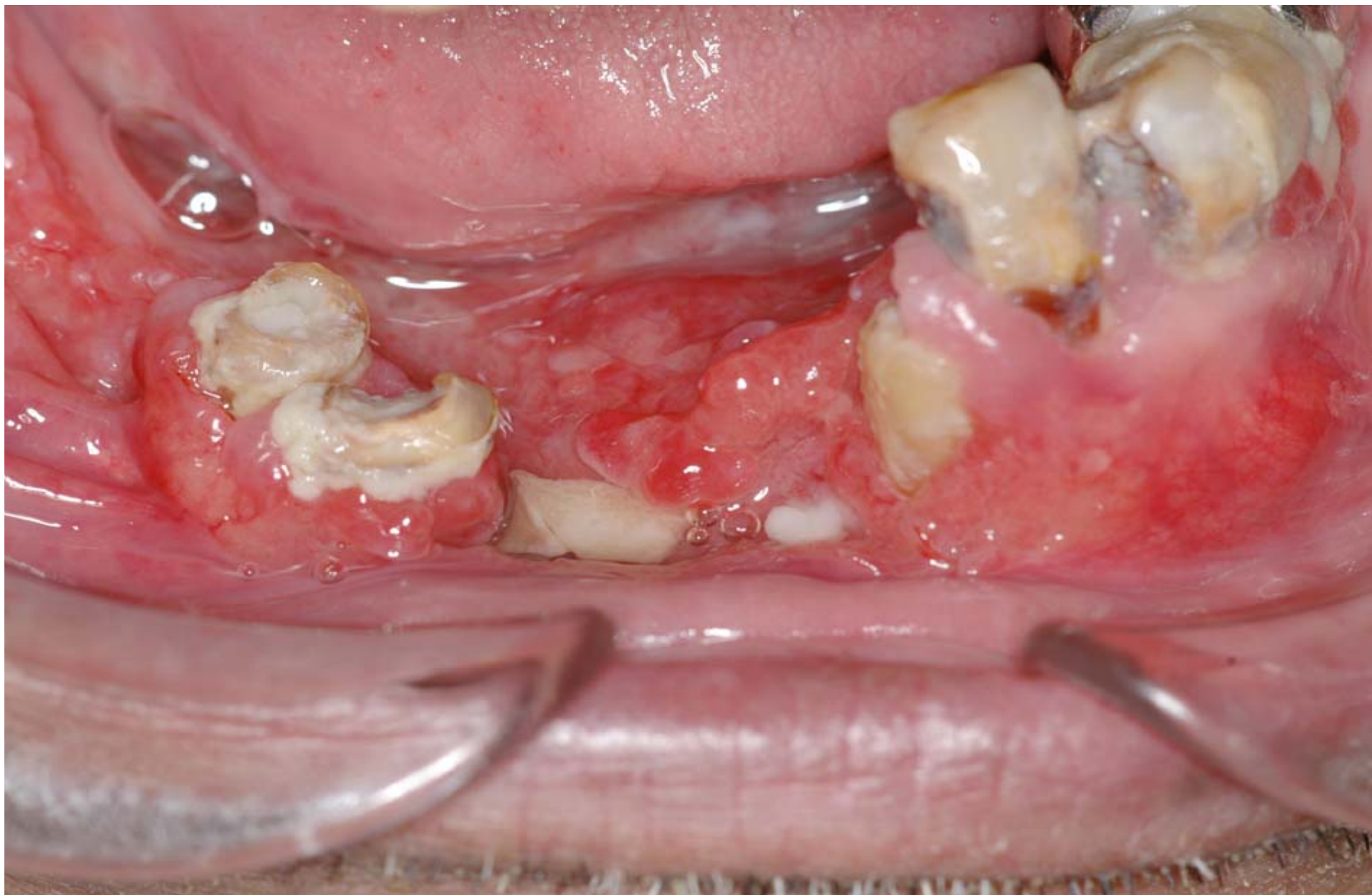


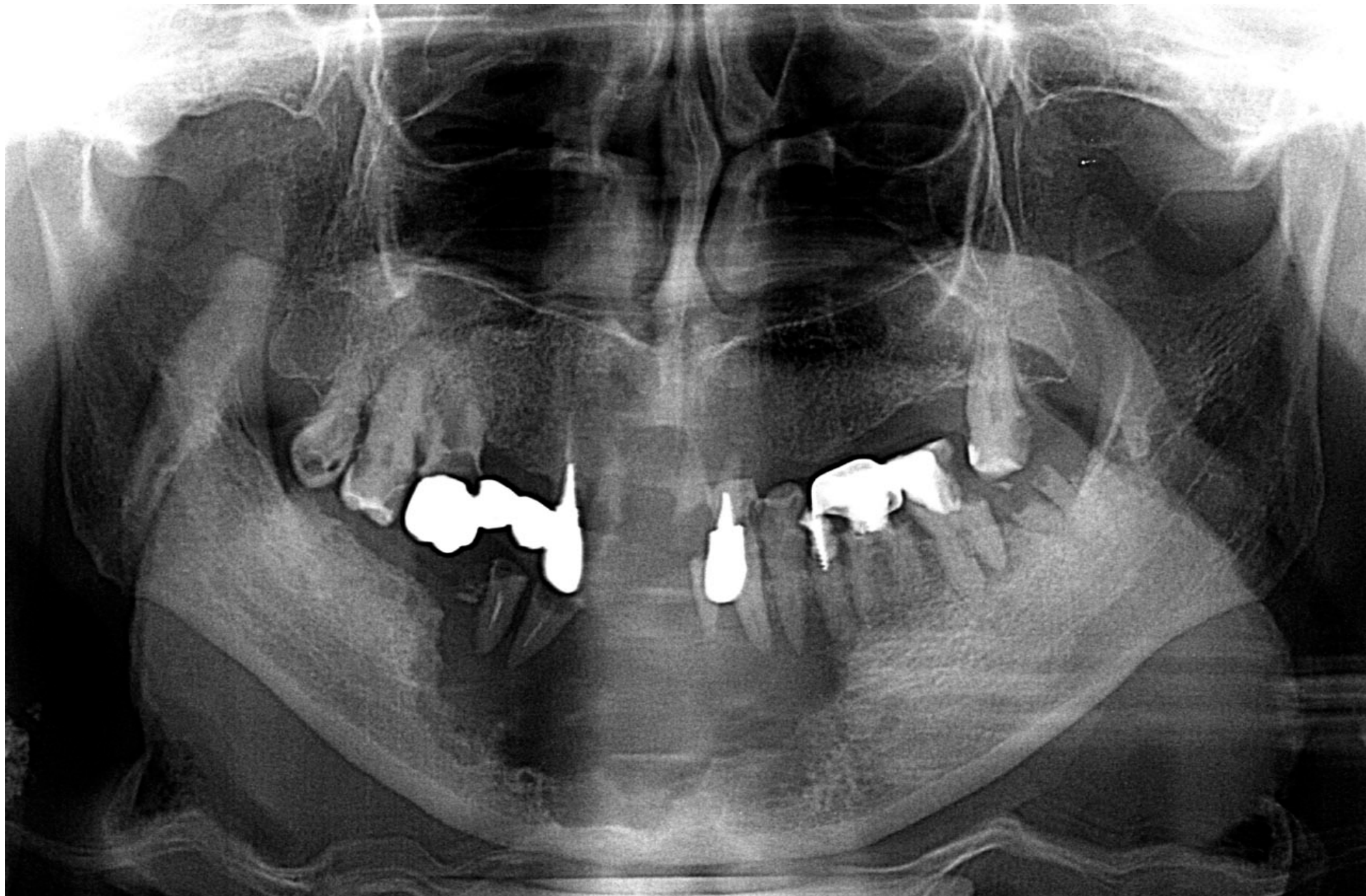




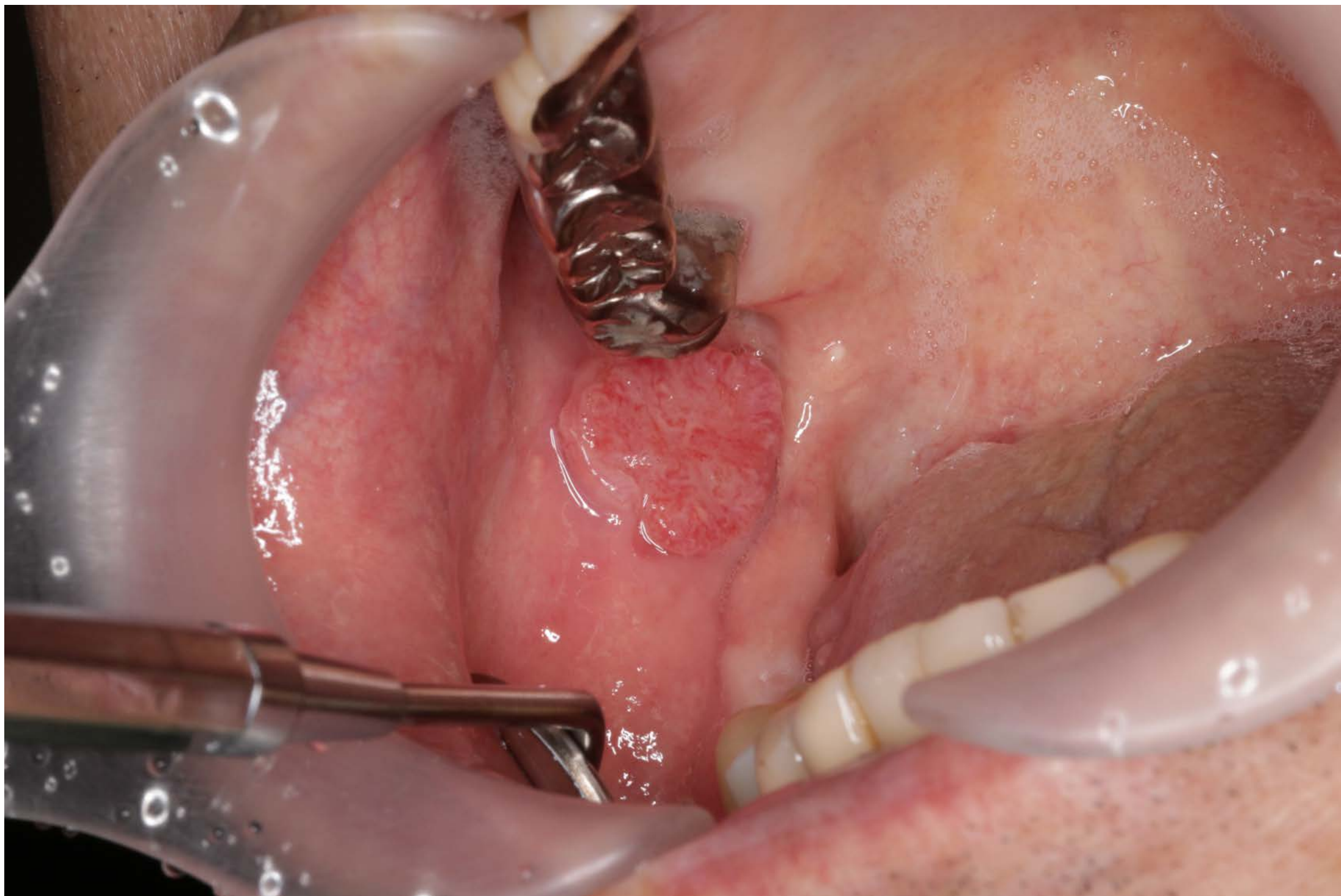








類粘膜癌





白板症とは

臨床的あるいは病理組織学的に他の如何なる疾患の
特徴も有しない白色の板状あるいは斑状の病変
(潜在性悪性疾患 WHO 2017)

- 頬粘膜、歯肉、舌に多い
- 主として40歳以上
- 非均一型白板症、可動粘膜（特に舌、頬粘膜、口底）が癌化しやすい
- 悪性化率：3.1～16.3 %









当科における口腔癌治療法と その成績

- 舌癌の治療方針
- 頸部転移とその治療
- 舌癌治療成績
- 進行がんに対する術前放射線・化学療法
- 症例供覧（下顎・上顎歯肉癌など）

舌癌の治療方法

病期 I

2 c m >

部分切除

縫縮
頬筋粘膜弁

病期II

3 c m >

病期II

3 c m <

術前治療

頸部郭清術
切除
皮弁再建

病期III

病期IV

口腔癌の診断のポイント

- 粘膜の表面凹凸不整
- 原因を取り除いても2週間以上治癒しない
- しこり（軟組織）
- 治癒しない抜歯窩（肉芽様）
- 歯牙の動揺、出血（歯周炎様）
- 周囲に白斑、紅斑の存在
- X Pにてびまん性骨吸収
- 口唇・頬部の知覚麻痺
- 頸部の腫脹

—口腔癌を見逃さないために—

- 治療する歯ばかりでなく、口腔内全体をチェックする習慣をつけて下さい！
- 治らない粘膜の異常は必ずフォローして下さい！
- 常に癌の可能性も考慮して診療して下さい！
- 患者さんの訴えを聞き逃さないで下さい！
- 治らなければ必ず地域の専門医に紹介状を持たせて受診いただいて下さい！